

ELM327 OBD2 汎用スキャンツール Ver1.5

型番 (OBD2-ELM327-BT・WIFI)

2023年1月更新 K&Mサービス株式会社

ファームウェアが継続的に更新するため、説明書と一致しない場合があります、ご了承ください。

一、製品概要

OBDとは「On Board Diagnostics (車載式故障診断装置)」のことで、自動車に搭載されている電子制御装置の故障を診断するための装置です。スキャンツールと呼ばれる外部故障診断機を使ってデータを読み取ると、運転支援装置や排ガス装置に異常があるかどうかを診断できます。

人身事故、車両の損傷を防止するために、この製品を使う前に、次の安全対策をご確認ください。

- DC12V自動車のみ対応します。24V車に使わないでください。
- 必ずエンジンをOFFしてから、本製品を接続したり、取外したりしてください。
- 車走行中、操作をしないでください。必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 保護眼鏡、軍手を着用して、換気の良い場所で実施してください。



二、 各部名称

Ver1.5 表示機能：速度、エンジン回転数、
ブースト圧（バキューム圧）、燃料残量、
水温、吸気温、電圧、エンジン負荷率、
スロットルポジション、航続距離、瞬間燃費、
平均燃費（A/B）、平均速度（A/B）、その他
※アプリにより項目は変わってきます。



WIFIタイプ

WIFI：WIFI接続ステータス
OBD：OBD2通信ステータス
Tx：DDLのK-line
Rx：DDLのK-line
電源：通電のステータス

Bluetoothタイプ

ON/OFF：電源ボタン
PWR：通電のステータス
LINK：Bluetooth接続ステータス
OBD：OBD2通信ステータス



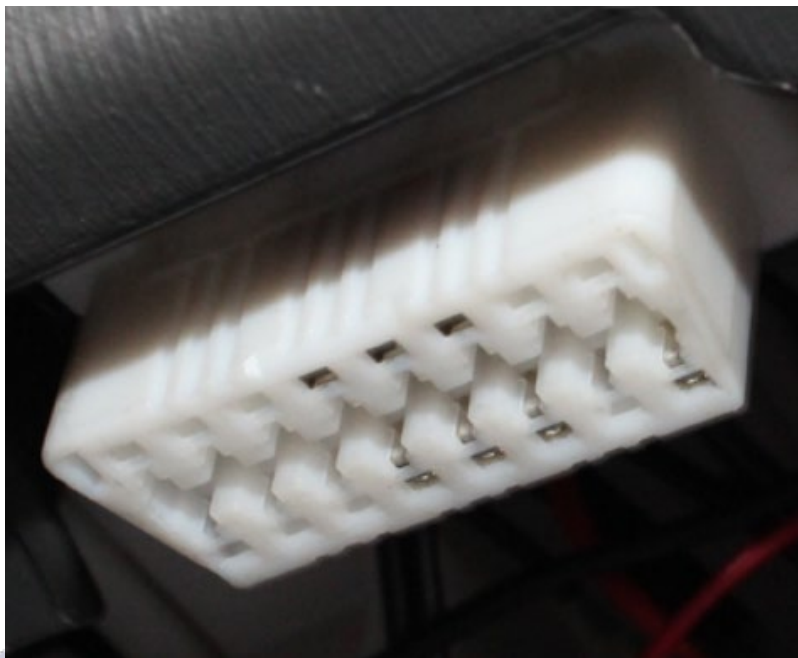
電源スイッチ付き -

OBD コネクターは常時電気を使用する為、
ACC 電源（アクセサリ電源）を OFF にしていても電気が使われます。
本商品は電源スイッチ付きで ON/OFF ができるので、バッテリー上がりも防げます。
週末しか車に乗らない方にも安心です。

三、 取り付け

OBD2 コネクタの設置場所については、車種によって異なるが、運転席のハンドル下やアクセルペダル付近などにあるので、一度、愛車で確認してみてください。

このようなコネクタです。



必ずエンジンを OFF してから、本製品を接続したり、取外したりしてください。
接触不良がないよう、奥までしっかり挿し込んでください。

対応車種：2003 年以降の OBD2 規格の国産車（軽自動車含む）、ほぼ全ての輸入車にも対応。

（※但し、プロトコルは複数あり、メーカー独自に採用するプロトコルもある為、場合によっては対応しない車種もあります。そして、電気自動車もサポートしません。）

対応プロトコル -Supported protocols-

0. Automatic

1. SAE J1850 PWM (41.6Kbaud)

2. SAE J1850 VPW (10.4Kbaud)

3. ISO9141-2 (5 baud init, 10.4Kbaud)

4. ISO14230-4 KWP (5 baud init, 10.4 Kbaud)

5. ISO14230-4 KWP (fast init, 10.4 Kbaud)

6. ISO15765-4 CAN (11bit ID, 500 Kbaud)

7. ISO15765-4 CAN (29bit ID, 500 Kbaud)

8. ISO15765-4 CAN (11bit ID, 250 Kbaud)

9. ISO15765-4 CAN (29bit ID, 250 Kbaud)

A. SAE J1939 CAN (29bit ID, 250*Kbaud)

B. USER1 CAN (11*bit ID, 125*Kbaud)

C. USER2 CAN (11*bit ID, 50*kbaud)

*Default settings (user adjustable)

四、 iOS、Android アプリ

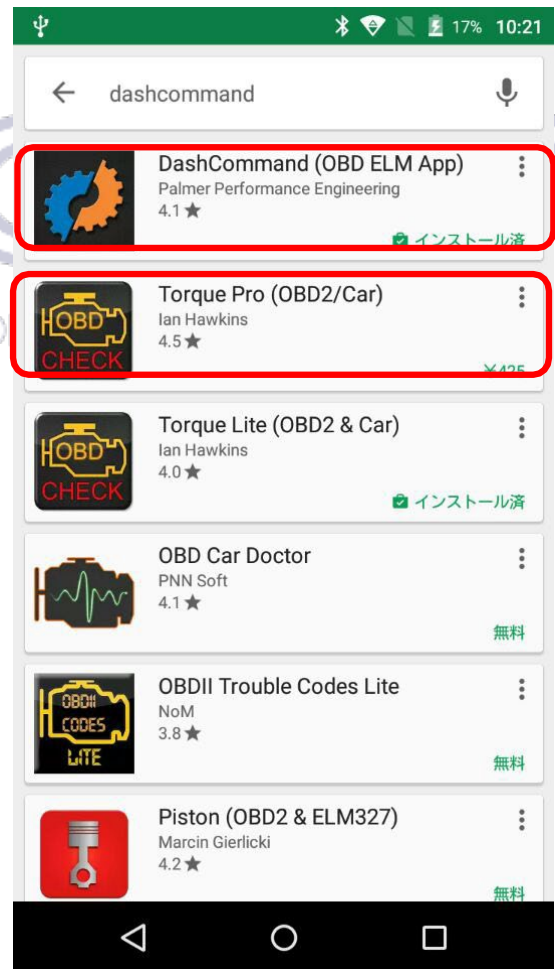
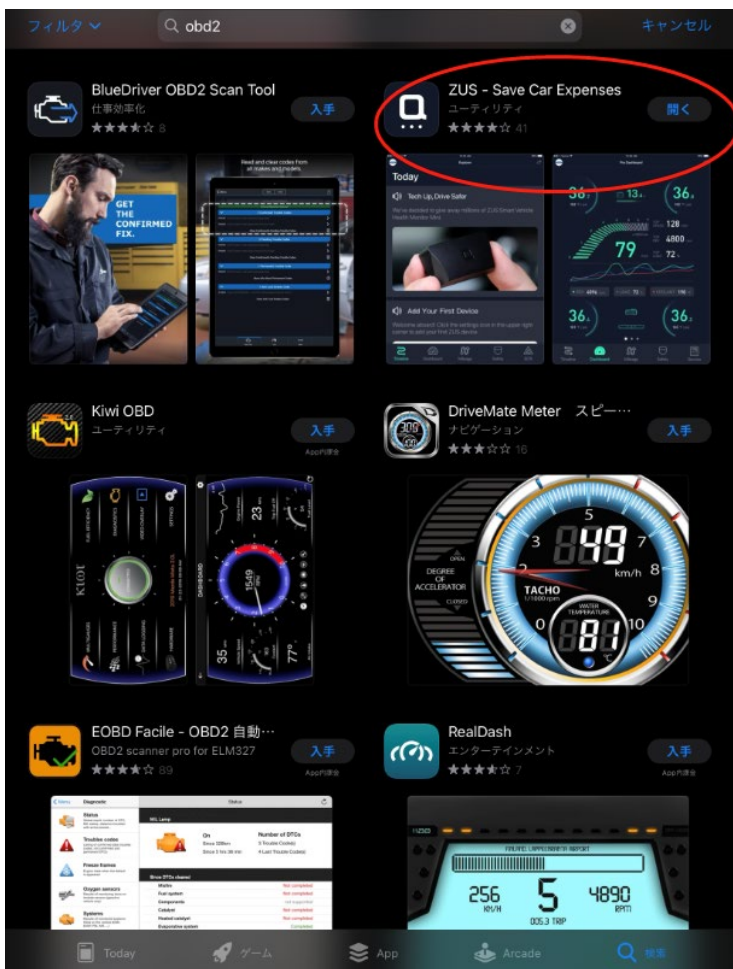
・下記のアプリで動作確認しておりますが、アプリの所有者の制限・更新により使えない場合がございます。

タイプ別対応 OS & アプリ

- ・Wi-Fi タイプ： iOS、Android、PC
- ・Bluetooth タイプ： iOS、Android、PC
- ・iOS アプリ： Car Scanner/ZUS ELM327/Dash Command 等
- ・Android アプリ： Dash Command/Torque pro 等
- ・PC ソフト： PCMSCAN/ScanMaster-ELM 等

有料ソフト・アプリが含まれていますので、アプリの情報、ダウンロード、インストール、スキャンツールの操作方法などはサポートしていませんので、予めご了承ください。
上記以外に、様々なソフト・アプリがあるので、色々お試しください。

Google Play ストア、App ストアから対象アプリを検索・インストールしてください。
下記画像は一部のアプリの例です。



五、 接続方法

まず、OBD2 ツールをお車に差し込んで、通電のステータス添付が点灯（点滅）状態にします。

・Wi-Fi タイプ

1, スマホの WIFI 設定より、OBDII を接続します。

うまく接続できない場合、OBD2 ツールを差し直したり、WIFI 設定し直してください。

2, OBDII アプリにお車の初期情報を設定して接続してください。（サポートしておりません）

アプリによる設定方法が違うので、アプリ操作方法をご確認ください。

3, 気に入らない、使いにくいアプリであれば、違うアプリでお試してください。

・Bluetooth タイプ

1, スマホの Bluetooth 設定より、OBDII を接続します。（パスワード：1234）

うまく接続できない場合、OBD2 ツールを差し直したり、Bluetooth 設定し直してください。

注：IOS の場合、Bluetooth 設定不要です！

2, OBDII アプリにお車の初期情報を設定して接続してください。（サポートしておりません）

アプリによる設定方法が違うので、アプリ操作方法をご確認ください。

3, 気に入らない、使いにくいアプリであれば、違うアプリでお試してください。



ZUS Scanner 例



DashCommand 例

参考動画

<https://youtube.com/shorts/JHXtwMX5cx4>

<https://youtu.be/QOAR6K1c5IU>

六、 注意事項

- ・ 加工、取扱ミスの場合は、いかなる理由でも返品・交換はできかねます。
 - ・ 修理・点検時の脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません（保証期間内含む）。
 - ・ 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ・ 免責について
- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
 - ② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など
 - ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合
 - ④ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

iOS16およびiPadOS16でWIFI_OBDIIに接続できない不具合

iOS16およびiPadOS16にアップデート後、iPhone・iPadで「WIFI_OBDIIに接続できない」問題が発生しております。

iOS16およびiPadOS16以前のバージョン、Windows OS、Android OSに影響がございません。

2023年1月では最新バージョンとなるiOS16.2やiPadOS16.2でも同様の問題が報告されています。

Apple セキュリティアップデートについては下記リンクよりご参照ください。

<https://support.apple.com/ja-jp/HT201222>

Pro Station
Just do it for you